

大学図書館 電子図書館・電子書籍貸出サービスアンケート 2017

2017年7月12日

【1】ご回答図書館のプロフィール記載

ご回答館(者)についてご記入ください

※1-1は記入必須となります。

【1-1】貴大学図書館名

【1-2】図書館数(中央館と分館(学部図書館、キャンパス別図書館)をあわせた数)

【1-3】ご担当者お名前・部署名

【1-4】ご連絡先メールアドレス(半角英数字でご入力ください)

【1-5】電話番号

※個人情報の取り扱いについて

ご記入いただいた個人情報は、アンケート結果の発表会及び図書館における電子書籍サービスのセミナーのご案内で使用する以外は利用いたしません。

また、個人情報についての、訂正、変更、削除等のお問い合わせは、電流協事務局にご連絡ください。

※このアンケートの用語の説明について

このアンケートで使われる用語については、アンケートとは別途に「図書館の電子書籍に関する用語の説明」を添付していますのでご参照ください。用語の説明については引き続き更新し、電流協ホームページで参照できるようにいたします。

【1-6】アンケート集計資料の送付方法について、選択肢からご選択ください(一つ選択)

※ご回答下さった大学図書館様には回答者様宛でメールでアンケートの集計結果をお送りいたします。

(1)メールによる送付を希望(メールアドレス必須)

(2)送付不要

(3)その他

【2】大学の設置学部について(複数選択可)

【質問 2-1】貴大学において、設置している「人文・社会科学系学部」を以下の選択肢(1)~(5)からご選択ください(複数選択可)

- (1) 法学部
- (2) 経済学部
- (3) 文学部・人文学部
- (4) 教育学部
- (5) 人文・社会科学系の上記以外の学部 (記載) _____

【質問 2-2】貴大学において、設置している「理工系学部」を以下の選択肢(1)~(4)からご選択ください(複数選択可)

- (1)理学部
- (2)工学部
- (3)農学部
- (4)理工系の上記以外の学部 (記載) _____

【質問 2-3】貴大学において、設置している「医歯薬系学部」を以下の選択肢(1)~(4)からご選択ください(複数選択可)

- (1)医学部
- (2)歯学部
- (3)薬学部
- (4) 医歯薬系の上記以外の学部 (記載) _____

【質問 2-4】貴大学において、設置している「体育・スポーツ・芸術・文理融合学部」を以下の選択肢(1)~(4)からご選択ください(複数選択可)

[総合科学系学部]

- (1) 体育学部・スポーツ学部
- (2) 芸術学部(美術学部、音楽学部を含む)
- (3) 文理融合型学部
- (4) 具体的学部名 (記載) _____

【質問 2-5】貴大学において、設置している学部につき、上記 2-1~2-4 以外の学部がありましたらご記入下さい(記入)

- (1)設置学部名(記載) _____

【3】電子図書館サービスの実施について

【質問 3-1】貴大学の図書館で「電子図書館サービス」として利用しているものがありましたら、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※学内に複数の図書館を設置している場合には、そのうちの1つの図書館でも利用しているものがある場合にはご選択ください

※Webでの図書検索・貸出予約サービス、OPAC検索は、本アンケートの「電子図書館サービス」には含んでいません

(1)電子書籍貸出サービス

- ・例 Maruzen eBook Library(丸善雄松堂)等
- ・なお、(1)をチェックされた方は、質問【4-1】～【4-6】にご回答ください

(2)電子ジャーナルサービス

→例 ScienceDirect (Elsevier 社) 等

(3)国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス

(4)データベース提供サービス

→例 JapanKnowledge+ (ネットアドバンス社) 等

(5)デジタルアーカイブ

(6)音楽・音声情報配信サービス

(7)その他(記載)

イトル数の多いジャンルを上から5つお選びください(5つ以下でも結構です)

- (1) 0類 総記
- (2) 1類 哲学
- (3) 2類 歴史・地理
- (4) 3類 社会科学
- (5) 4類 自然科学
- (6) 5類 技術・工学
- (7) 6類 産業
- (8) 7類 芸術・スポーツ
- (9) 8類 言語
- (10) 9類 文学

【質問 4-5】 電子書籍サービス導入している場合において、電子書籍コンテンツの費用に
いて会計処理はどのようになっていますか、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1)電子書籍を図書館資料「備品」として扱う
- (2)電子書籍を図書館資料「消耗品」として扱う
- (3)電子書籍についてもデータベース(商用)と同等「使用料等役務費」として扱う
- (4)サービス全体についてオンラインシステム「使用料役務」に含める
- (5)サービス全体について「委託料」として扱う
- (6)その他(記載)

【質問 4-6】「電子書籍貸出サービス」を授業等で意図的に活用している事例がありましたら具
体的にご記入ください(記載)

.....

※ **【質問 4-7】** については、前問 **【質問 3-1】** において(1)を選択しなかった図書館がご回答く
ださい。

【質問 4-7】 貴大学の図書館における「電子書籍貸出サービス」の状況について、選択肢から
ご選択ください

- (1)電子書籍貸出サービスを実施する予定が具体的にある
 - (2)電子書籍貸出サービスの実施を検討中(まだ具体的でない)
 - (3)電子書籍貸出サービスを実施する予定はない
 - (4)その他(記載)
-

※【質問 4-8】～【質問 4-12】については、すべての図書館がご回答ください。

【質問 4-8】「電子書籍貸出サービス」についての問い合わせや要望について、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1)大学の法人からの問い合わせがある
 - (2)大学の教職員からの問い合わせがある
 - (3)学生・大学院生からの問い合わせがある
 - (4)大学の保護者からの問い合わせがある
 - (5)現在のところ問い合わせはない
 - (6)その他(記載)
-

【質問 4-9】「電子書籍貸出サービス」に期待する機能を、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1)音声読み上げ機能
 - (2)文字拡大機能
 - (3)文字と地の色の反転機能 (読書障害対応)
 - (4)マルチメディア機能(映像や音声、文字などのリッチコンテンツ提供)
 - (5)電子書籍の紙出力による提供(コンテンツのプリントアウト)
 - (6)必要なコンテンツ発見の検索サービス(コンテンツの全文検索)
 - (7)その他(記載)
-

【質問 4-10】「電子書籍貸出サービス」に期待する形態(ライセンス形態等)を選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1)マルチアクセス対応(複数・多数同時利用可能形態)
 - (2)学習支援機能(ハイライト、書き込み、付箋等の機能)
 - (3)学校外からのアクセス対応
 - (4)その他(記載)
-

【質問 4-11】「電子書籍貸出サービス」のコンテンツについて懸念される事項(機能以外)がありましたら、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1)提供されているコンテンツが少ない
- (2)新刊のコンテンツが提供されにくい
- (3)コンテンツの規格がわかりにくい

- (4)コンテンツの価格
 - (5)コンテンツ購入(提供)費用の会計処理の基準
 - (6)コンテンツを閲覧するビューアが自由に選べない
 - (7)その他 (記載)
-

【質問 4-12】「電子書籍貸出サービス」のコンテンツ以外について懸念される事項がありましたら、選択肢からご選択ください(複数回答可)

- (1)予算の確保
 - (2)担当部署、担当者の問題
 - (3)電子書籍貸出サービスが継続されるかどうか(サービス中止に対する不安)
 - (4)大学の理事会等に電子書籍貸出サービスについて理解を得ること
 - (5)電子書籍貸出サービスを実施するための十分な知識(経験)がない
 - (6)電子書籍貸出サービスを選択する場合の基準や方法がわからない
 - (7)利用者(学生・教職員)に対する電子書籍貸出サービスの説明
 - (8)その他 (記載)
-

【5】「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」に対する対応について

※「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料サービス」とは、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料を全国の公共・大学図書館等の館内で利用できるサービスのことを言います

【質問 5-1】「国立国会図書館 図書館向けデジタル化送信サービス」の対応について、選択肢からご選択ください(一つ選択)

- (1)申し込んで、閲覧・複写サービスを開始している
 - (2)申し込んで、閲覧サービスのみ開始している
 - (3)平成 29 年度中に申し込みをする予定で検討している
 - (4)平成 30 年度以降に申し込みをする予定で検討している
 - (5)現在のところ申し込む予定はない
 - (6)その他(記載)
-

【質問 5-2】質問 5-1 で(1)(2)を選択した方について、サービスを開始して感じる利点を選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1)より多くの資料を提供できるようになった
- (2)利用者のニーズに即した資料をより適切に提供できるようになった

- (3)より迅速に資料を提供できるようになった
 - (4)相互貸借を減らすことができた
 - (5)利用者端末の有効活用につながった
 - (6)その他(記載)
-

【質問 5-3】 質問 5-1 で(1)(2)を選択した方について、図書館で「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」を開始して感じる課題を選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1)利用が少ない
 - (2)魅力的な資料が少ない
 - (3)運用・管理が煩雑である
 - (4)設備や要員に係る負担が大きい
 - (5)複写物の提供に係る判断が難しい
 - (6)その他(記載)
-

以上